
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2008年12月24日号

◎2008年11月における中国の小麦市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年11月における小麦市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

- 1 冬小麦の生長は基本的に正常、一部の地区では病虫害の発生が深刻化
2008年の全国の冬小麦の播種面積は安定的で、気象条件及び生長状況を見ると、12月中旬までに北方の冬小麦地区の大部分でやや気温が高く、土壌の湿度も比較的良好、冬小麦の増産に有利な状況にある。ただし、山西省中部及び河北省南部など一部の地区では、土壌の湿度に偏りがあり、冬前の丈夫な苗の生育に不利な状況にある。また、注意すべきは、一部の地区で病虫害が発生し、深刻化していることである。
- 2 2008年1～10月は小麦の輸出入とも大幅に減少
2008年1～10月の小麦産品輸出量は、前年同期比87.9%減の28.4万トンとなった。同じく輸入量は同89.5%減の9,713.9トンとなった。輸出関税については、中央政府の規定により2008年12月1日から2009年12月31日までの間、小麦の輸出関税率が20%から3%へ、小麦粉及び小麦澱粉のそれが25%から8%へと下方調整される。
- 3 国内の小麦価格は基本的に安定に推移
農業部のモニタリングによると、2008年11月の中等小麦の自由市場の全国平均価格は1トン当たり1,704円で、前月比2.1%安・前年同月比7.6%高となった。ただし、一部の地

区では、中央政府による小麦の最低買上価格引き上げの影響で、価格がやや上昇した。同月の鄭州市（河南省の省都）食糧卸売市場における普通小麦（一般品質の小麦）価格は1トン当たり1,698円で、前月比1.7%高・前年同月比8.6%高となった。同じく優良小麦の卸売価格は同1,865円で、前月比1.4%高・前年同月比11.8%高となった。

4 2008/09年度の世界の小麦生産量及び在庫量は大幅に増加

国際穀物理事会（IGC）の10月の報告によると、2008/09年度の世界の小麦生産量は前年度比12.0%増の6.83億トン、消費量は同6.0%増の6.51億トン、貿易量は同6.4%増の1.17億トン、在庫量は同22.0%増の1.50億トンと見積もられている。また、国連食糧農業機関（FAO）の11月の予測では、同年度の世界の小麦生産量は同10.9%増の6.77億トン、消費量は同4.5%増の6.43億トン、貿易量は同7%増の1.19億トン、在庫量は同20.3%増の1.87億トンとみられている。

5 国際小麦価格は引き続き加工変動、2か月連続で国内価格を下回る

金融危機及び世界的な小麦増産の影響を受け、国際小麦価格は下落を続けた。2008年11月の米国メキシコ湾における硬紅冬小麦（蛋白質含有量12%）の平均離岸価格（本船渡し価格＝FOB価格）は1トン当たり250.3ドルで、前月比2.5%安・前年同月比24.46%安となった。硬紅春麦（蛋白質含有量14%）のFOB価格は同318.67ドルで、前月比1.8%高・前年同月比15.1%安となった。カンザス先物取引所における硬紅冬麦の平均先物価格は同207.57ドルで、前月比5.6%安・前年同月比31%安となった。

国際小麦価格は10月から2か月連続で国内価格を下回り、11月の米国メキシコ湾における硬紅冬小麦のFOB価格を1トン当たり1,709元と換算すると、国内生産地の優良小麦の卸売価格に比べ同156元安く、前月に比べその価格差は85元拡大した。通関渡し価格（Duty Paid：CIF＋関税等）は同2,299円で、同時期の国内優良小麦の南方消費地区における卸売価格に比べ同185元高く、その価格差は前月に比べ173元縮小した。